

Q：幼児の運動時の体調の観察は

A：幼児は、自己の体調の変化や痛みを、適切に言葉で表現することが難しいため、大人が、その変化に早めに気づいてあげることが大切です。体調不良のままで運動すると、集中力や注意力が低下しているために、思わぬ事故に結びつく危険性があります。指導者は、運動の開始時だけでなく、運動中や休憩時間でも、子どもの顔色や機嫌、活気、動き方などの様子を常に観察し、子どものささやかな変化を見逃さないようにすること。何気ない気づきが、からだの不調を早期に発見し、大きなケガや事故を防ぐことにつながります。

(前橋 明)

子どもの健康福祉研究所